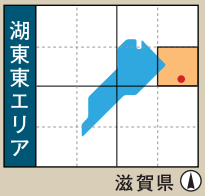
天然記念物
県指定

河内の風穴

多賀町河内　昭和34年2月10日指定

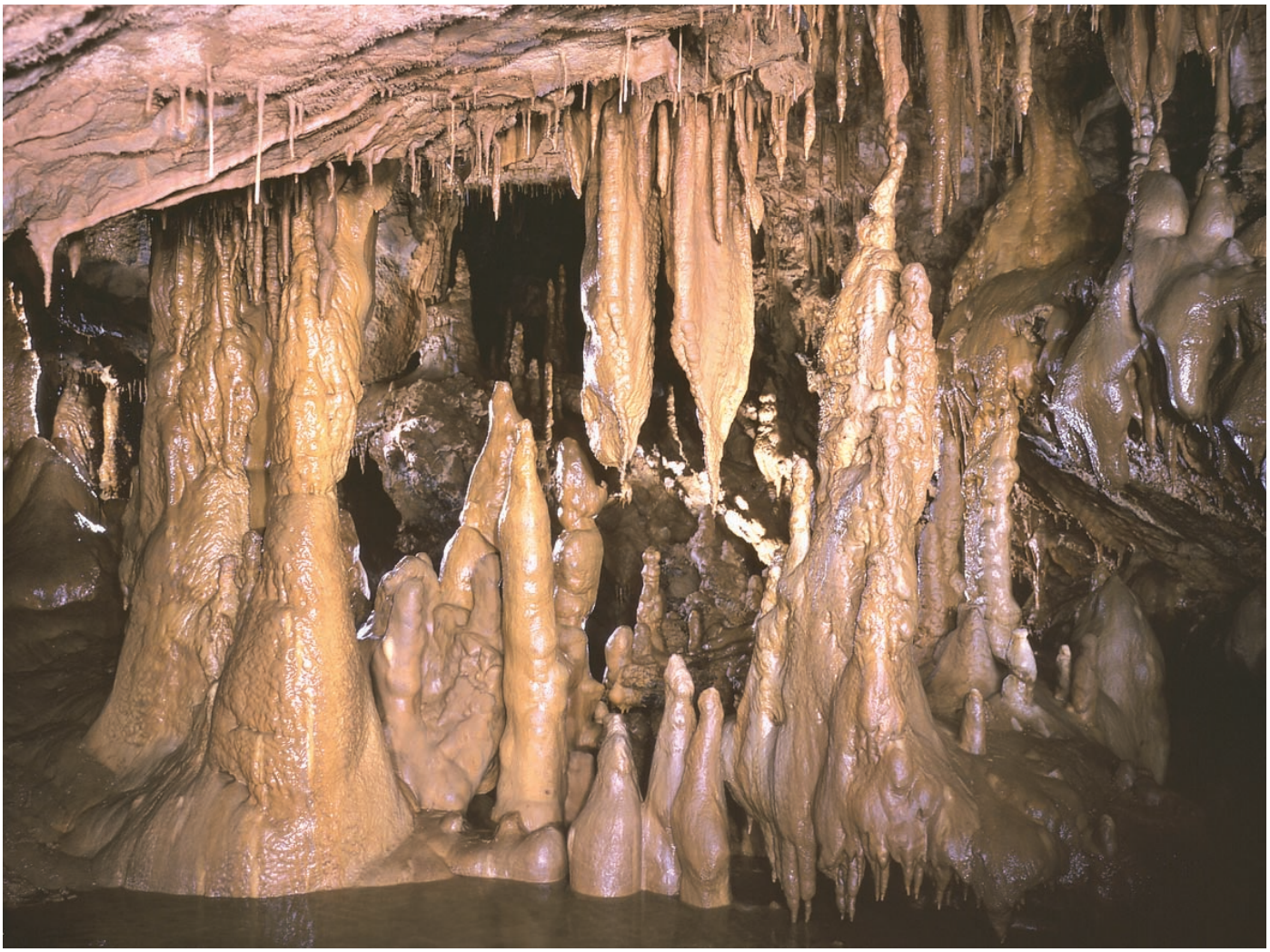


伊吹山から鈴鹿山地の北部にかけては、石灰岩が多く分布し、独特の景観を造り上げています（学習シートNo.091：醒井峡谷・No.123：伊吹山頂草原植物群落）。河内の風穴もその一つで、地下水が長い年月をかけて浸食して造り上げた、関西では最も規模の大きい鍾乳洞です。洞内には鍾乳洞の環境に適応した、変わった生物たちが生息しています。

河内の風穴

鍾乳洞は、石灰岩大地の地下に発達した網目状の空洞で、台地の地層面や節理面、断層面などから浸透した降雨水が、これらの弱線にそって岩を溶解してできあがった地形です。県内には河内の風穴の外、佐目の風穴などが有名で、霊仙山だけでも大小16カ所余りが知られていますが、内部が見学できるのは県内では河内の風穴だけです。

河内の風穴は、入り口が芹川の支流エチが谷の標高約260mの所にある、鍋尻山の北東尾根に発達した鍾乳洞です。入り口の高さは約1mと小さいのですが、内部は3階構造となり、小洞がいくつも連なる複雑な構造となっています。洞の延長は約3,320m、総面積は約1,554㎡で、関西では最大規模の鍾乳洞です。洞内で最も広い「大広間」と呼ばれる部分には、一部地下水が川となって流れていて、内部にはコウモリ類など多くの洞内生物が生息しています。気温は年中15～16度と安定しており、古くは、芋や蚕の卵の保存場所として利用されていました。



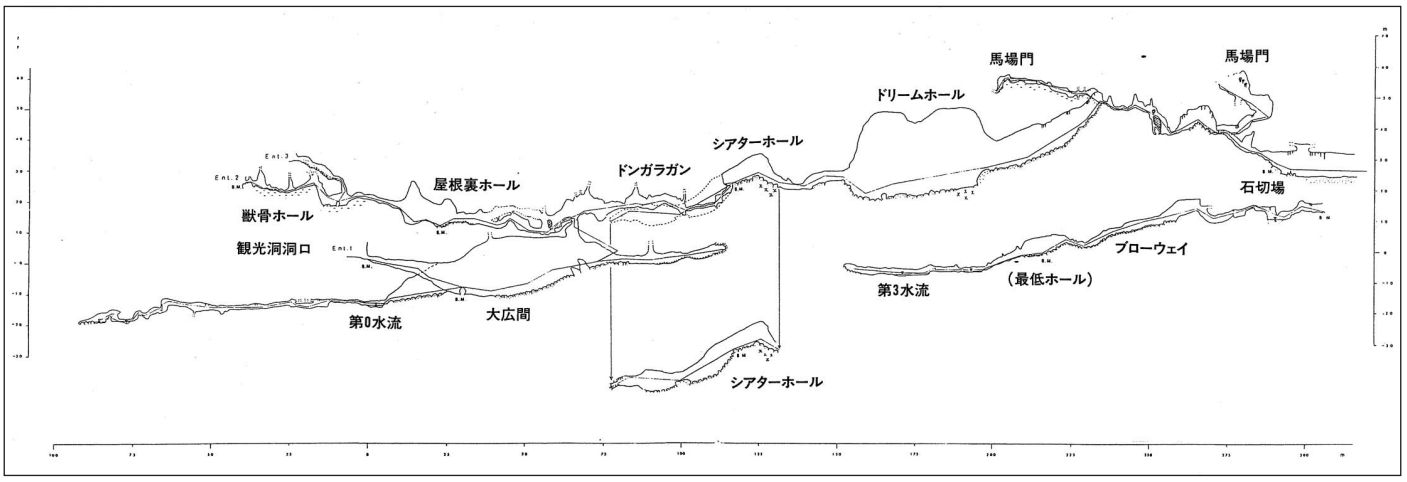
河内の風穴　鍾乳石と石筍



河内の風穴内部



河内の風穴内部



河内の風穴断面図

［風穴に生息する生物たち］

風穴の中には、鍾乳洞の環境に適応した生物たちが生息しています。中でも最も多彩な生物群がコウモリ類です。ユビナガコウモリは一番生息数が多く、3000頭以上のコロニーを見ることができます。キクガシラコウモリは寿命が長く、20年以上も生きる個体もいます。他にテングコウモリ、モモジロコウモリなどを見ることができます。

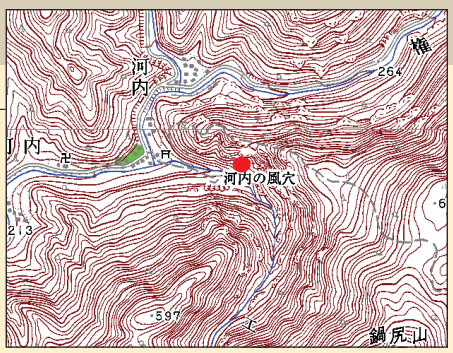
風穴内の地下河川にも生物たちが住んでいます。コバヤシミジンツボは、全国でも河内の風穴でしか見られない、体長が1㎜にも満たない小さな半透明の巻き貝です。また、同じく極小の貝で県内ではここにしかいない、ホラアナゴマオカチグサも生息します。

関連する文化財

入水鍾乳洞 （福島県滝根町）	昭和2年に発見された洞窟。水量が多く中に滝や急流が見られる。鍾乳石の発達も良い
竜河洞 （高知県土佐山田町）	非常に複雑な構成を持ち、支洞も多い。弥生時代の住居として用いられており、石灰華に包まれた弥生土器が発見されている

もっと深く知りたい

多賀町立博物館・多賀の自然と文化の館　☎0749-48-2077　犬上郡多賀町大字四手976-2



河内の風穴へのアクセス

JR琵琶湖線　彦根駅下車
名神高速道路　彦根インター

【参考文献】〔滋賀縣史蹟名勝天然記念物概要〕滋賀縣史跡名勝天然記念物調査會

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月